

スポーツYAMATO

車先制タイムリ

4節2連敗もまだ終わってない

主軸に当たりが戻ってきた



4節2試合目は北信越地域で長年のライバルYKK。お互い手の内を知る相手だ。前日は1安打完封された大和打線だが、主軸を担う新海は「感触は悪くない。調子は上向いて来た」と、堀は前日最後の打者で三振を喫した悔しさをぶつけると意気込み十分。4番を打つキャプテン車も朝から明るい表情で今日は何とかしてくれると確信した。試合はいきなり1回表、大和電機の攻撃から試合は動いた。先頭打者の上原が内野安打で出塁し、2番古賀が送った後、次打者新海は死球で出塁し、絶好のチャンスに4番車が初球をライト前にタイムリーを放ち1点を先制。押せ押せムードが出来たが、5番立川のライナーをYKKショートがファインプレーし、一気に流れを持ってくる事が出来ず、1点止まり。3回表は打撃の何かをつかんだ2番古賀が内野安打で出塁、新海が右中間へのヒットで続いた。その後新海が盗塁、1アウト後、5番立川が1・2塁間へのタイムリーヒットを放ち、1点を追加した。更に追加点を上げるチャンスだったがモノに出来ず1点止まりに。一方、前日誕生日だった先発の斉藤は5回まで要所を締めて好投を続け、前日好投

した大串に引けを取らない素晴らしいピッチングだったが、6回裏に1点を失って交代。代わった大串もYKKの勢いに押しされ、3点を失ってしまった。7回表は反撃をかけたかったが、無得点に終わり、2・4でYKKに惜敗した。

残された道は険しいが

これで4節は2連敗を喫し、後がなくなった。しかし、最終戦VONDSに勝利する事ができれば2位通過の可能性も見えてくる。とにかく最終戦に勝つことが絶対条件だ。この2試合は負けてはいない。特にYKKとの試合は主軸を担う打者に当たりが戻ってきた。3番新海は右方向の打球に勢いが出てきた、4番車は持ち前の勝負強さが戻ってきた、5番立川はファウルボールが顔面に当たってしまい心配だが、芯を食う当たりが戻ってきた。6番を打つ堀も借り物のバット「フェニックス」が徐々に手に馴染んできている。また、打席での左足の蹴り上げも元に戻り、右打席に穴が開いてしまうのではないかと心配だ。最終戦はそろそろ堀の一発が出ると予想する。さあ泣いても笑っても後1試合。やるだけだ。